

特別支援教育にかかわる支援の流れ

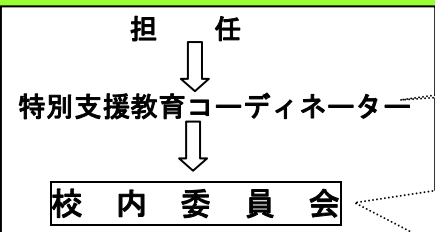
本人は努力していても落ち着いて行動することが難しかったり、人との関係づくりが苦手だったり、書くことや読むことなど特定の学習がなかなか定着しなかったりなど、お子さんの学校生活の様子で気になっていることについて、保護者の方からご相談を受けた場合の基本的な支援の流れを、ご説明します。



効果的な支援を行うためには、学校と保護者の方が共通理解を図り、協力して対応していくことが、欠かせません。
したがって、学校と家庭とが緊密に連絡を取り合うことがとても大切です。

保護者からの相談

各学校には、**特別支援教育コーディネーター**が、1名以上います。コーディネーターは、指導法などについて担任の相談相手になるとともに、学校全体でよりよい支援策を考えていくための中核となり、校内委員会を運営していきます。
また、保護者の方からの相談窓口でもありますので、心配なこと等ありましたら、コーディネーターに気軽にご相談ください。



校内委員会は、お子さんにとってよりよい支援のあり方を検討するための校内組織です。学校ごとに多少異なりますが、コーディネーター、担任、かかわりの深い教員、派遣相談員（スクールカウンセラー）などがメンバーとなっています。
ご相談の内容に基づき、お子さんの学習や行動の様子についてみんなで気付いたことを出し合い、課題を整理して、例えば、次のようなことについて具体的な支援の方法を検討していきます。

- 指示を出す時は板書して示すなど、担任が指導する時の工夫…
- 教育支援センターや医療機関などともっと効果的に連携を図る方法…等

変化がなかなか見られない場合

アセスメント小委員会の開催

支援の方法（例）

（学級以外の場での個別指導など）	その他の支援	継続的な相談	教育支援センターにおける	担任等の指導法の工夫	通級指導（こぶし学級） （こだま学級）
------------------	--------	--------	--------------	------------	------------------------

アセスメント小委員会（※1）は、校内委員会で検討してもなかなか有効な支援策が見つからない場合に、「武蔵野市特別支援教育推進委員会」のメンバーが、学校とともに支援の方法について協議をする場です。
また、保護者の方からの希望がある場合に、通級指導学級への入級について決定する場でもあります。



通級指導学級では、情緒、きこえや言葉が気になるお子さんに対して、一人一人の状態に合わせ、週に1～2回、**個別指導**や**グループ指導**を行います。
★平成19年4月より、現在の通級指導学級に加え、武蔵野市立第四小学校にも通級指導学級（情緒障害）を新設する予定です。

支援の実行

*よい変化が見られない場合は、再度、アセスメント小委員会で別の支援方法を検討します。

本人や保護者の方に、教育支援センターに通っていただくほかに、各小・中学校に配置されている**派遣相談員**、**スクールカウンセラー**（共に臨床心理士）に、学校でご相談いただくこともできます。必要な場合は、**学校にお問い合わせ**ください。
また、派遣相談員やスクールカウンセラーは、担任やコーディネーターへの助言も随時行っていきます。